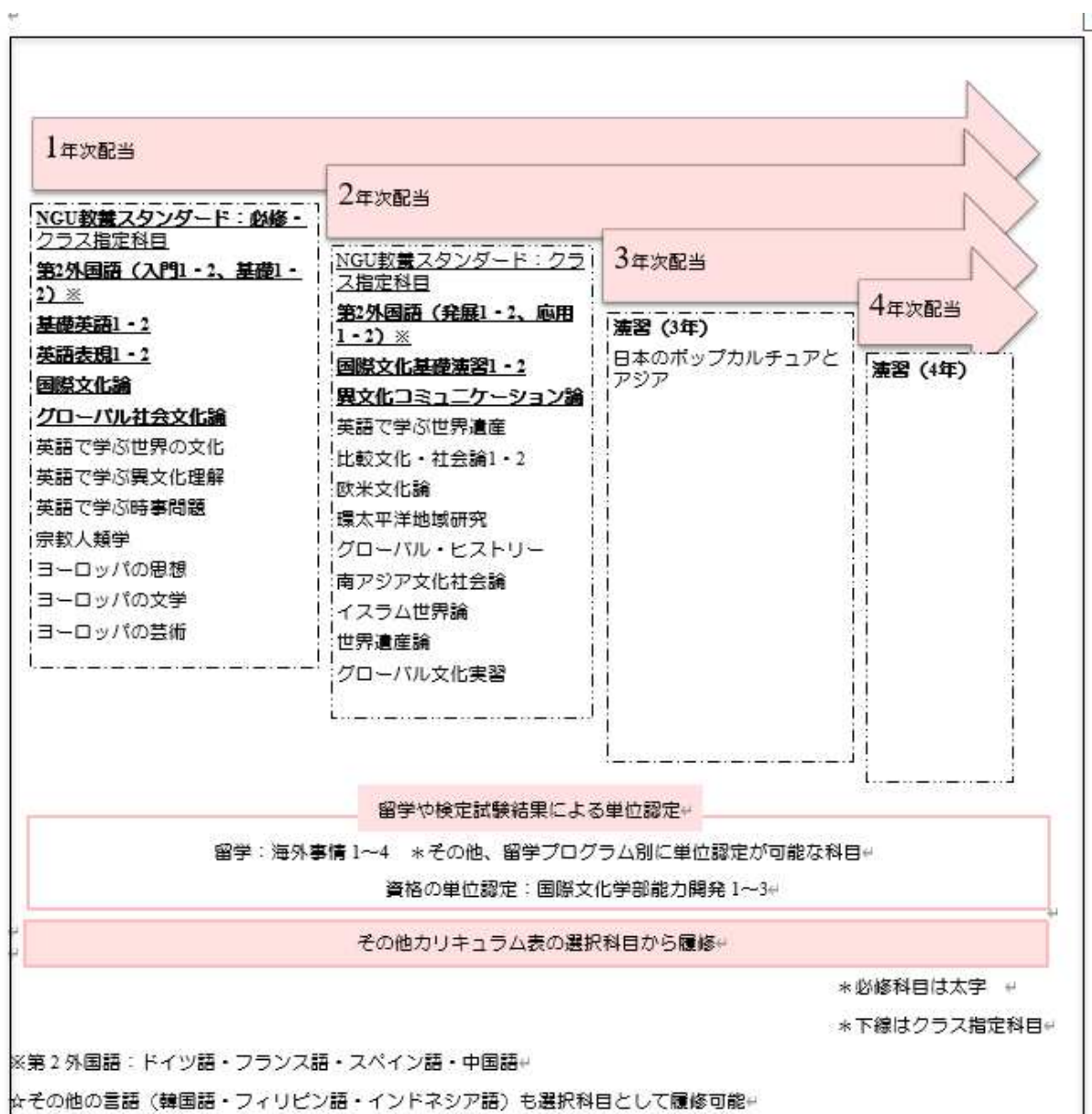


履修モデル（国際文化学部国際文化学科）

グローバル文化専攻 履修モデル



1) 想定される進路

一般企業、海外展開する国際企業、観光・航空・物流など国際コミュニケーション力を必要とする企業、行政機関など。

2) 履修モデルの考え方

グローバルな視点に立って多文化社会を理解し国際的な場で活躍するため、優れた外国語運用能力を備え、文化・歴史・社会・政治・経済などの広範な知識をもとに複雑な国際関係を理解するように構築されています。



1) 想定される進路

海外展開する国際企業、海外にルーツのある人を受け入れる日本企業、国際協力活動に従事する機関や団体、外国人住民を支援する自治体や団体など。

2) 履修モデルの考え方

国際社会における協力・共生に関して、地球的な課題を正確に理解し、文化的共生を核にした国際貢献を実践できる能力を養うことを目標とします。



1) 想定される進路

観光・空港・ホテルなど日本文化を海外に紹介する企業、海外展開する国内の企業、行政機関や一般企業の外国人対応部署など。

2) 履修モデルの考え方

グローバルな視野を意識しつつ、日本の歴史や伝統文化を理解し、海外で日本文化を紹介したり、海外からの観光客などに日本の文化を紹介したりすることができる知識や能力を獲得することをめざしています。また、その為に必要な外国語運用能力を備え、文化・歴史・社会・政治・経済などの広範な知識をもとに複雑な国際関係を理解するように構築されています。

学びの 領域

国際文化学科では、まず日本の文化を見つめ直し、その上で、国際文化への理解を深めていきます。また、世界の文化を知るにあたって、一国の文化に注目するだけでは不十分です。本学科では、国と国との文化を関連づけて学ぶことで“国際文化”や“グローバルな世界のつながり”を理解していきます。

